

セキスイ

( ポールコーンマルチベースワイド140 )

PCMBW140施工要領書

スチールスペーサー 接着タイプ (SNタイプ)

このたびは PCMBW140 スチールスペーサー接着タイプ をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
お求めの製品を正しく使用していただくために、この施工要領書をよくお読みください。

施工前にご準備ください

| 準備していただく機械・工具・材料など                     | 使用用途                |
|----------------------------------------|---------------------|
| カラーコーン、工事用バリケード                        | 作業員の安全確保            |
| 洗浄ブラシ                                  | 設置面、孔内部の清掃          |
| コンベックス                                 | ベース間ピッチの測量          |
| チョーク or チョークリール                        | ベース設置位置および孔位置のマーキング |
| 接着剤攪拌容器                                | 接着剤の攪拌              |
| 接着剤塗布用ヘラ                               | 接着剤の塗布              |
| 接着剤 (エポキシ系)                            | 路面設置・固定             |
| ドライバー (マイナス刃巾6mm以下)                    | 製品組み立て              |
| M10ソケットレンチ<br>(全長40mm以上 エクステンションバー使用可) | ナット増し締め             |

スチールスペーサー 接着タイプ 施工要領

1 部材の確認

施工される前に必ず、納品された部材と納品書が一致するかどうか、ご確認ください。

|   | 部 材 名  | 数量 |   | 部 材 名     | 数量 |
|---|--------|----|---|-----------|----|
| 1 | 取扱説明書  | 1  | 5 | スチールスペーサー | 1  |
| 2 | 本体ユニット | 1  | 6 | M10ゴムリング  | 1  |
| 3 | ベース    | 1  | 7 | M10座金     | 1  |
| 4 | 固定ピン   | 1  | 8 | M10袋ナット   | 1  |

2 設置位置の決定

なるべく平らな場所を選び、図面のベース設置ピッチにしたがい、コンベックスおよびチョークまたは  
チョークリールなどで設置場所に目印を付けてください。  
障害物がある場所や凹凸のある路面は避けてください。  
また、道路の路面が濡れていないことを御確認下さい。



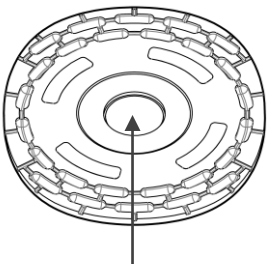
車両の頻繁な踏み越えが想定される場所への設置はご遠慮ください。  
製品が外れる恐れがあり危険です。

3 設置面の清掃

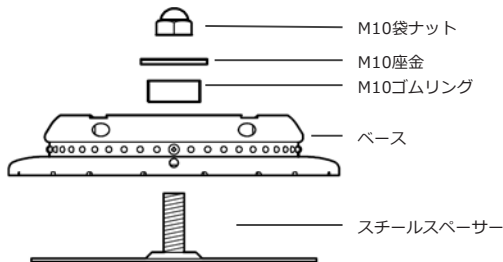
設置面をワイヤブラシなどでしっかりと清掃してください。  
また、石粉・砂などは、ブラシやエアガンなどできれいに清掃してください。

4 ベース部の組立

ベース中央の円型のステッカーのみを剥がし、ボルトを通す穴をあけてください。  
次にスチールスペーサーにベース、ゴムリングを右図のようにセットした後、M10座金をはめ込み、  
M10袋ナットをソケットレンチなどで締め込み固定してください。



※中央の円型のステッカーを  
剥がしてください



スチールスペーサー、その他取り付け部材を保管する  
際は、PE袋に入れたまま屋内で保管していただくこ  
とを推奨いたします。

スチールスペーサーを長期間保管されますと端部や、  
接着剤充填確認穴に錆が発生する場合がございますが、  
製品品質上問題はございません。  
そのままご使用いただけます。

5 接着剤(ロードボンド)の混合

主剤(白)と硬化剤(黒)をそれぞれ同量容器に入れ、白と黒のすじがなくなりグレーになるまでよく混  
ぜ合わせてください。

| 製品1基当たりの使用量 (主剤＋硬化剤) |         |
|----------------------|---------|
| ロードボンド               | 約50 g／基 |



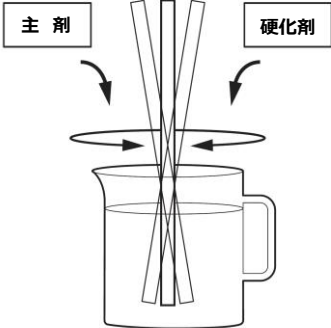
当社ジスロンボンド及び砂入りのエポキシ接着  
剤は、ご使用にならないでください。十分な接  
着強度が得られません。

ロードボンドは2液性ですので、混合比を必ず  
ご確認ください。  
混合比を間違えると硬化不良を起こし、接着  
できない場合があります。

ロードボンドの使用できる時間は、  
混合後、気温25℃で約20分程度です。

《混合比》

1 : 1



6

接着剤(ロードボンド)の塗布

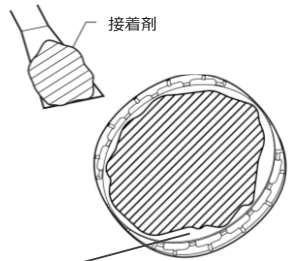
接着剤を塗布する前にまず、スチールスペーサー底部のほこりなどを取り除いてください。  
次に、接着剤をスチールスペーサー底面に薄く広げるように  
塗布してください。  
設置面に凹凸がある場合は、必ずスチールスペーサー部の設  
置面に接着剤が接着するように、接着剤を多めに塗布してく  
ださい。



スチールスペーサーの上面やボルトに接着剤が  
付着した場合は、直ぐに綺麗な布で拭き取っ  
てください。



ベース部への塗布は必要ありません。



スチールスペーサー

7

ベース部の設置

底面に接着剤を塗布したベース部を設置面にしっかり押し付  
けて、接着してください。接着後、スチールスペーサーと路  
面が密着してしっかり固定されていることを確認し、周りには  
み出した接着剤を取り除いてください。

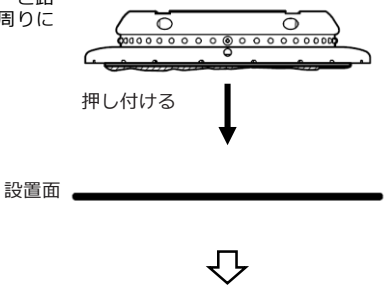


製品を複数基設置する際は、通りを出して  
から固定してください。

ロードボンドの硬化時間の目安は以下の通  
りです。  
夏期 (路面温度40℃) 1時間以上  
冬期 (路面温度10℃) 3時間以上  
常温 (路面温度25℃) 1時間30分以上



必ず接着剤の硬化時間以上に養生してくだ  
さい。養生時間前に交通開放を行いますと、  
製品にがたつきなどの不具合が生じたり、  
路面から外れるなどして危険です。  
十分にご注意ください。  
また、気温5℃以下のとき、降雨時、降雪時  
には施工しないでください。



設置面

接着剤が周りにはみ出した場合は  
取り除いてください。

8

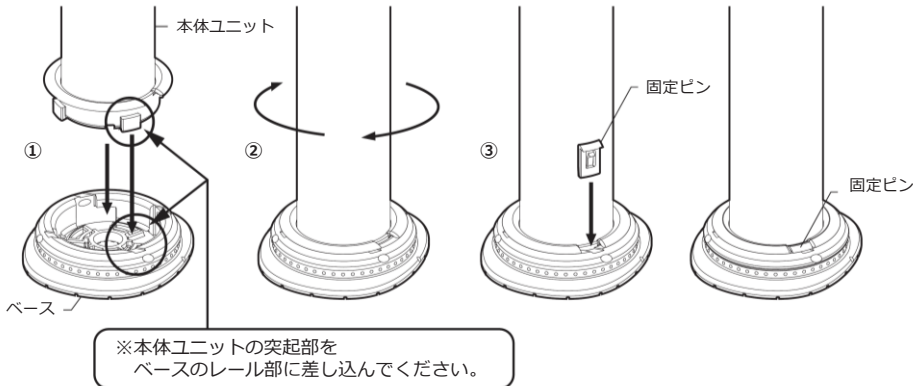
本体ユニットの組み立て

本体ユニットをベースに取り付けてください。  
①本体ユニット下部の突起部をベースのレール部に差し込んでください。  
②本体ユニットを回転させてください。  
③本体ユニットを設置後、固定ピンをレール部に差し込んでください。  
固定ピンは最後まで差し込んでください。



本体ユニットの差込位置は下図をご参照ください。

本体ユニットを差し込んだ後、固定ピンを差し込むためのレール部が見えるまで回転させて、  
本体ユニットがベースから抜けないように取り付けてください。



※本体ユニットの突起部を  
ベースのレール部に差し込んでください。

9

確 認

製品が図面に記載された寸法通り施工されたか、ご確認ください。  
最後に、固定ピンに浮きがないことをご確認ください。

本体ユニットの交換について

1

本体ユニットの取り外し

固定ピン下部にある丸穴にドライバーを差し込み、固定ピンの凸部を押しながら引き抜いてください。  
固定ピンを外した後、本体ユニットを回転させて、ベースのレール部から抜き取ってください。

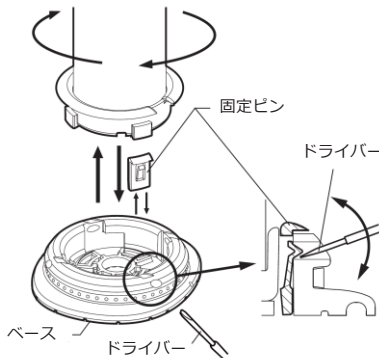
2

本体ユニットの組み立てと固定

本体ユニットの取り外しと逆の手順で、新しい本体  
ユニットをベースに取り付け、固定ピンでベースに  
固定してください。



本体ユニット交換の際は、ベースに亀裂や  
破損がないことを確認してください。  
亀裂や破損がある場合には、ベースも交換  
してください。  
ベースに亀裂や破損がある状態で使用す  
ると本体ユニットが外れるなどして危険です。



3

確 認

最後に、固定ピンに浮きがないことをご確認ください。